

【A】 10. 名義貸し・事業の貸渡し

1. 事業者は、その名義を他人に貨物自動車運送事業のために利用させてはいけません。また、事業の貸渡しその他いかなる方法をもってするかを問わず貨物自動車運送事業を他人にその名において経営させてはいけません。

2. 「名義貸し行為」は、雇用関係、経理処理、運行管理、車両管理、事故処理等の実態を踏まえたうえで、その事業実態がトラック事業の事業主体として負うべき危険や責務を実質的に他人に背負わせ、その他人が事業を営んでいることとなっているか否かを総合的に見て判断されます。

【チェックポイント】

・上記のとおり、名義貸しについては、実態から総合的に判断されますが、疑われる管理となっていないですか？ ☐

項目判定

☐ 適 ☐ 否